



2011~2012年度 テーマ

Reach Within to Embrace Humanity

— ころの中を見つめよう 博愛を広げるために —

2011~2012年度 R.I.会長

カルヤン・バネルジー (インド・バピRC)

SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長・梅村 良輔 幹 事・田中丸善弥

事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内

TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323

例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日)

TEL 0956-23-8181

http://www.sasebo-rc.jp/

E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 24 年 5 月 16 日

第 3,025 回例会

NO 41

《本 日》会員数 75名 (出席免除会員 25名)・出席 58名・免除者欠席 8名・欠席 9名・ビジター 0名 ・出席率 77.33%

《前々回》会員数 75名 (出席免除会員 25名)・出席 53名・免除者欠席 11名・欠席 11名・メイクアップ 11名・修正出席率 100.00%

会 長 挨拶

会長 梅村 良輔さん

大型連休は山岳遭難事故、海難事故と相場が決まっていますが、今年は高速道交通事故と竜巻被害が追い打ちをかけ、危険な国の一端を垣間見て、自分だけは大丈夫という安全宣言に少し疑いを持たねばと思われた方も多いと思います。突然降って湧いたトルネードは避けられなかったでしょうが、高年齢登山家と人災的運転事故は何とかならなかつたかと思えます。



18日、大英帝国エリザベス女王即位60年記念昼食会に、天皇皇后両陛下がご列席なさいます。エリザベス女王の戴冠式に昭和天皇のご名代で参列された当時皇太子殿下であられた18歳の陛下の映像を拝見いたしますと、空ではなくて海を渡って渡欧されたことに、まさに隔世の感をいだくところであります。

又、40年前の昨日は、沖縄が米国から日本に返還された記念日であります。40年より以前は旅券が必要でありました。終戦から27年も日本であって米国の施政権に翻弄された日々からの本土復帰となりましたが、いまだに基地の問題は暗礁に乗り上げ、賛否両論が渦巻く中、沖縄の青い空、蒼い海は何を思っているのでしょうか。

夏場所、白鵬4敗のおりしも名横綱 双葉山 定次生誕100周年であります。豪華客船タイタニック号が沈没して1世紀。明治から大正

へ時代が移って100年。本年は良いニュースが沢山残るような年になってもらいたいものです。

報告事項です。5月9日(水)、海自の新総監 吉田正紀海将^{まさのり}をお尋ねし、名誉会員推戴の願いを申しあげて参りました。ご快諾頂きました。



佐世保地方総監 吉田正紀海将 (左から2人目) と 佐世保地方総監部 幕僚長 重岡康弘海将補 (右端)

吉田新総監に名誉会員推戴のお願い並びにロータリーピンバッジ贈呈をさせて頂きました。総監より会員の皆様へよろしくお伝えくださいとのことでした。

例 会 記 録

○ロータリーソング「四つのテスト」

幹 事 報 告

幹事 田中丸善弥さん

1. 第2740地区ガバナー事務所
地区ホームページ更新のお知らせ
5月12日です。

2. 第11回日韓親善会議 第2750地区準備委員会

副委員長 西山 眞理子さん

第11回日韓親善会議が、2012年8月31日(金)、9月1日(土)開催につき、「日韓姉妹クラブ広場」「日韓クラブお見合い広場」「韓国との震災復興支援共同プロジェクト」事例発表のためアンケート依頼が来ております。

3. 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 「ハイライトよねやま146号(2012年5月14日発行)」が届きました。

4. 佐世保をきれいにする推進協議会

会長 三宅禎太郎さん

空き缶回収キャンペーンについて(お願い)

1. 実施日/平成24年6月3日(日) 小雨決行
荒天の場合は6月10日(日)に延期
2. 集合場所/市総合運動公園又は市役所
本庁玄関前
3. 集合時刻/午前8時50分

委員会報告

■地区ロータリー財団委員 玉野 哲雄さん

国際ロータリー第2740地区
2011-2012年度
「第3回ロータリー財団委員会」
参加報告



日時/2012年5月12日(土)

13:00~17:00

会場/長崎インターナショナルホテル(大村市)

石坂地区財団委員長挨拶

〔報告事項〕

1. ロータリー財団ゾーンチーム研修報告
2. ロータリー財団現況報告
3. 国際親善奨学生現況報告
4. ロータリー財団東日本災害復興基金について
5. ロータリーカードについて

〔協議事項〕

1. 今年度財団目標推進について
2. 2011-12年度地区補助金報告書の件

(2)

3. 2012-13年度地区補助金申請書の件
4. 2011-12年度国際奉仕部門ロータリー財団セミナー

未来の夢補助金セミナーについて

5. 今後の地区財団委員会の方向性について
 - 1) 委員会構成について
 - 2) 事業計画と予算について
6. 新制度における財団奨学生に関する件
ポリオプラスプログラム

1985年には、125ヵ国に35万人のポリオ感染者がいました。2008-2012年にかけてロータリー2億ドルチャレンジが始まった。

2007年11月 ゲイツ財団から1億ドルの補助金

2008年1月 ロータリーの1億ドルチャレンジが始まった。

実施期間:2010年12月31日迄

2009年1月 ゲイツ財団から新たに2億5,500万ドルの補助金

ロータリーは2012年6月30日までに合計2億ドルを調達することを目標にしてきましたが、2012年1月に2億ドルチャレンジを達成いたしました。合計5億5,500万ドル。今後もポリオ撲滅への闘いは、根絶するまで続きます。

朗報:インドがポリオ常在国から除外されました。ポリオ蔓延国であったインドでは、2011年1月13日以来、ポリオ感染が1件も確認されておりません。よって現在のポリオ常在国は、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3ヵ国となりました。

■社会奉仕委員会 委員長 黒木 政純さん 「空き缶回収キャンペーン」参加のお願い

日時/平成24年6月3日(日)

AM 8:50集合

場所/中央公園・噴水前
(名切町)



※小雨決行、荒天の場合は6月10日(日)に延期します。

多くの方の参加をお願いします。

■ローターアクト委員会

委員長 長富 正博さん

RYLA及びローターアクト年次大会の報告

5月19日(土)、20日(日)、RYLA(ロータリー青少年育成指導者プログラム)と来月6月2日(土)、3日(日)に、2740地区のローターアクト年次大会が開催されますので、私も彼等と一緒に参加してきます。長崎国際大学RACからは、RYLAが3名、唐津での年次大会は13名が出席の予定です。



その他の報告

次年度副幹事 平尾 幸一さん

先週5月9日(水)、次年度長島会長のクラブ最初の公式行事であります、大委員会を無事開催できました。ご出席の皆様、誠にありがとうございました。



朗遊会より

朗遊会幹事 松尾 文隆さん

第40回佐世保市内8RC親睦ゴルフ大会のご案内
〔競技の部〕

日時／平成24年5月20日(日) AM 8:45スタート
場所／佐世保カントリークラブ
(石盛ゴルフコース)
参加費／10,000円(懇親会費含む)

〔懇親会の部〕

日時／平成24年5月20日(日) 18:30～
会場／ホテル万松楼「芙蓉の間」
参加費／6,000円(懇親会のみ出席の場合)

慶 祝

出席・例会委員会 大久保利博さん

○永年会員表彰

松本 英介さん (37回)
福田 金治さん (35回)

○出席100%表彰

米倉洋一郎さん (23回)
有蘭 良太さん (10回)
鬼木 和夫さん (6回)
平尾 幸一さん (5回)
中川 知之さん (1回)
土井 弘志さん (1回)
坂本 敏さん (1回)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 佐藤 丈治さん

梅村 良輔会長、米倉洋一郎副会長
坂本 敏さん、大久保利博さん
土井 弘志さん、高橋 理一さん
才木 邦夫さん、安福鴻之助さん
平尾 幸一さん、見藤 史朗さん
橋高 克和さん、中川 知之さん
増本 一也さん

目黒さんの卓話に期待してニコニコします。

松本 英介さん、福田 金治さん
米倉洋一郎さん、有蘭 良太さん
平尾 幸一さん、中川 知之さん
土井 弘志さん、坂本 敏さん

永年会員表彰および出席100%表彰ありがとうございます。

ニコニコボックス



本日合計 21,000円
累 計 840,000円



卓 話



『「東日本大震災」と「地震保険」について』

会員 目黒 誠之さん

(東京海上日動火災保険(株) 佐世保支社長)



2011年3月11日、14時46分。日本観測史上最大の地震(マグニチュード9.0)、東日本大震災が発生しました。

その時、私は、東京の高層ビルの8Fで会議をしていました。東京は頻繁に地震がありますので、ある程度の揺れには慣れているのですが、あの時の強烈な横揺れには、「ビルが折れてしまうのではないか」、「このまま…」といった、恐怖を感じたのを今でも鮮明に覚えています。

翌日、緊急対策本部が本店で立ち上がり、業務命令で多くの社員が復旧・復興支援のため被災地に向かうことになるのですが、被災地の状況は、まさに「筆舌に尽くしがたい」状況でした。

損害保険会社の社員の被災地での業務は、保険金を1日でも早く被災された方にお届けするために、損害状況を査定し、損害額を大凡確定するというものです。普段は、保険金をお支払いする業務に携わっていない社員も短期間の研修を受講したうえで、業界全体が一体となって、必死に損害額の調査・査定を行いました。その結果、業界全体で3カ月で1兆円以上の保険金をお支払いすることができ、多くの被災者の方に保険の重要性、大切さを感じて頂けたかと思えます。

査定をする前は、査定額と被災された方の希望額とに乖離があった場合には、少なからずトラブルになるのではないかと心配もありましたが、多くの契約者の方から「保険金を払ってくれてありがとう」と感謝の言葉を頂き、逆に日本人(東北人)の心の温かさを身にしみて感じた次第です。その時あらため

て感じたのが、「何かあった時の“保険”の重要性、大切さ」です。被災直後は、大切な人、思い出の品を失った深い悲しみで途方に暮れ、先のことはほとんど考えられませんが、暫くすると“生活”という現実が待っています。二重ローン、三重ローンで苦しんでいる人も多くいます。その時、保険金が経済的な負担を軽減させるだけでなく、精神的にも幾ばくかの“ゆとり”を与えることができるということを痛感しました。

長崎県、その中でも佐世保に住む我々は、どうしても地震に対する備え、意識が他県と比較すると低いです。これは、過去大きな地震災害に遭遇していなかったという歴史からくるものだと思いますが、日本列島全体が地球規模で見れば極めて地震リスクが大きい地域であることは間違いのないわけで、是非、一度大切なご家族、社員のために真剣に地震に対する“備え”を検討して頂ければと思います。

私は、佐世保ロータリークラブの会員となって初めて、全世界のロータリークラブからも沢山の支援が被災地に様々な形で送られていることを知りました。

私も日本人として、地球人として、そしてロータリアンとして、今後も少しでも復興・復旧に貢献できればと考えています。

本日は拙い話を最後までお聞き頂き、本当にありがとうございました。

次回例会予告

卓話予定者

佐世保工業高等専門学校

校長 中尾 充宏様

(今週の担当：中村 徳裕)

(カメラ担当：久富 洋一)

クラブ会報委員会

委員長 中村 徳裕
副委員長 有蘭 良太

委員 松本 由昭・大野 高広
久富 洋一・佐藤 丈治